

「太田山公園」は、中心市街地に最も近く、眺望のある自然豊かな公園であり、木更津市民の思い出が詰まり、生まれる憩いの場として、さらに魅力を向上させる再整備を目指します。

連絡先

木更津市都市整備部市街地整備課
〒292-8501
千葉県木更津市朝日3-10-19(朝日庁舎)
電話：0438-23-846（直通）

1. 立地の概要

- 東京駅から約50分、横浜駅から約45分、千葉駅から約50分と、首都圏都心部からのアクセスが良好な木更津市の中心部に立地。
- 木更津市の中心市街地から最も近い自然豊かな公園。
- 周辺には、生まれ変わった鳥居崎海浜公園や、「クルックフィールズ」「ポリシェエクスペリエンスセンター」など、賑わいづくりが進んでいる。



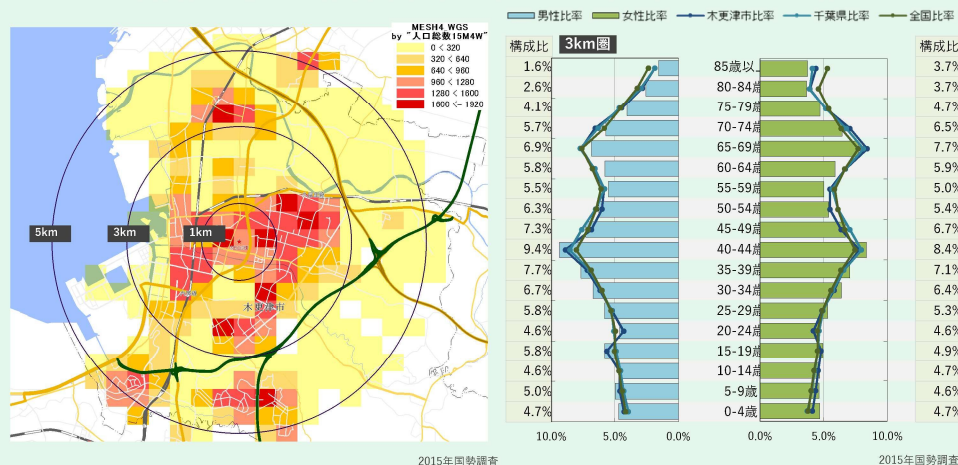
3. 太田山公園の魅力

- 太田山公園は、市内随一の桜の名所であり春には多くの来園者が訪れる。
- 山頂にあるきみさらずタワーからの眺望は、東京や横浜を一望することができ、天候によっては東京スカイツリーや富士山まで見ることができる。
- 園内には自然豊かな広場がエリアごとに点在しながら、「郷土博物館 金のすず」や「旧安西家住宅」などの歴史や文化を体感できる施設もある。



2. 周辺マーケット

- 計画地は、木更津市の中でも人口密度の高いエリアに立地している。
- 年齢別人口構成は木更津市平均と類似しており、40代がボリューム層となっている。



4. 太田山公園のイベント

- 桜の季節には「桜まつり」や「夜桜のライトアップ」などを実施している。
- 「太田山プレーパーク事業」では豊かな自然を活かしたイベントを実施している。



参考

太田山公園の言い伝え

別名「恋の森」

神代の頃東征の際に、日本武尊がこの山から海を見つめながら、波間に身を投じた妃の弟橘姫を偲び、永くこの地を去りかねたという悲しい伝説から、太田山は別名「恋の森」とも呼ばれている。現在でも「日の出」「夕焼け・夜景」を望むスポットとして、とてもロマンチックな一面も持ち合わせる。



太田山公園再整備計画

5.

太田山公園再整備の方向性

中心市街地に最も近い眺望のある自然豊かな公園として、眺望や自然環境の魅力を活かした、幅広い年齢層が安心して様々な楽しみ方ができる公園環境への再整備

- 広場空間ごとの自然環境に合わせたテーマの明確化により、それぞれの空間ごとの魅力を最大化。
- 既存施設を活かす飲食機能などの付帯や、自然環境を活かすアウトドアプログラムなどにより、過ごし方を多様化し、来園目的性を高める。
- 植栽環境を再整理し、四季の感じられる公園への再整備。
- 主要動線環境やバリアフリー環境の改善により、誰もが快適に過ごすことができる公園環境への再整備。
- 駐車場再整備による、自動車での来園者の利便性向上。



参考

市民の意向（市が2021年度実施した市民ニーズ調査資料より）

- ・ 市民の意向として、「眺望を楽しめる公園」「四季折々の花が鑑賞できる公園」といった魅力のある公園整備が望まれている。
- ・ 欲しい施設として「休憩施設」「多様な花木・花壇」「眺望施設」「売店・カフェ」の要望が多い。

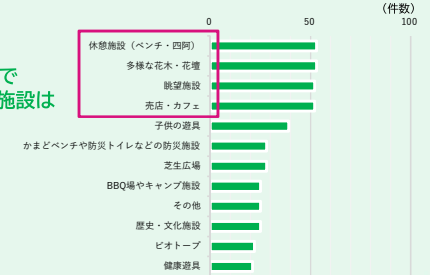
Q.

どのような
目的の公園に
したいか



Q.

当公園で
欲しい施設は
なにか



6.

イメージパース

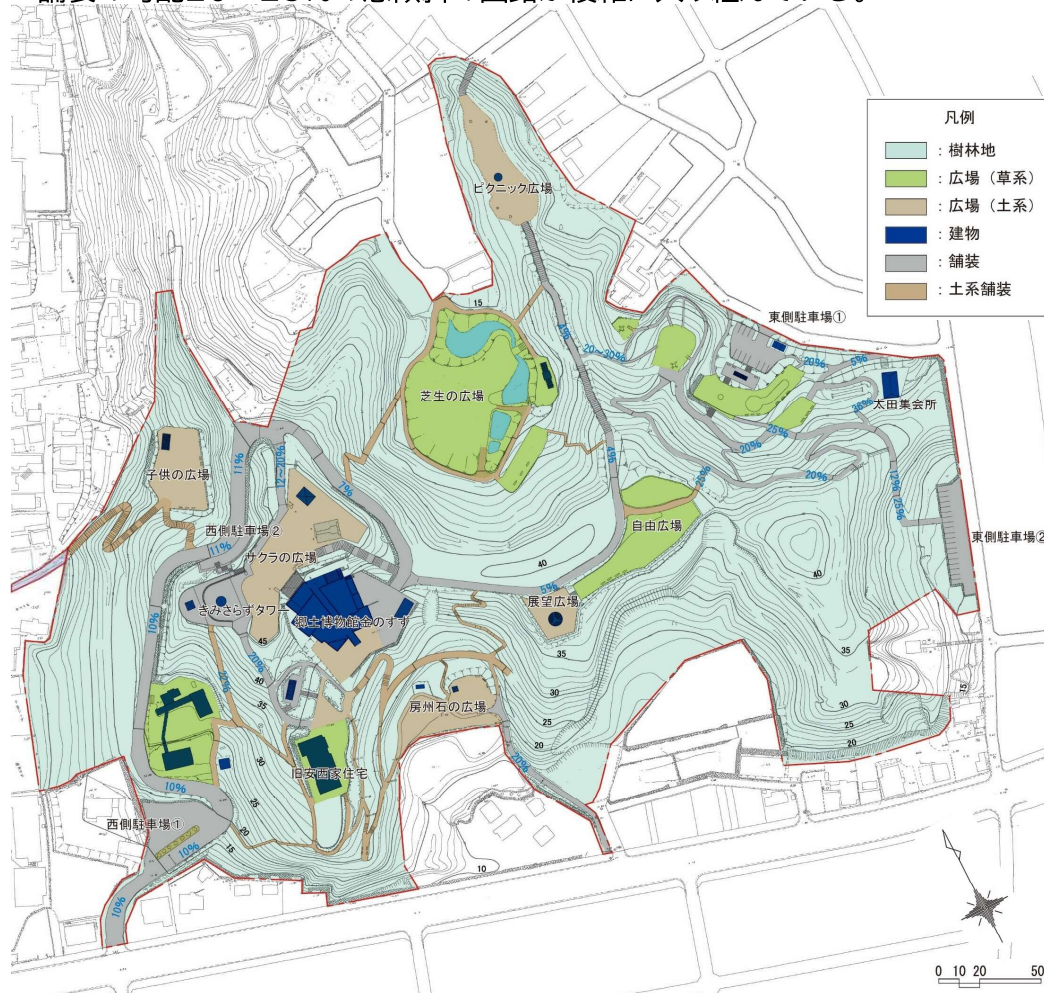


※本パンフレットに掲載されたイメージパースやイラストは、あくまで計画・検討段階のイメージになります。

園路は全体的に舗装されているが、急勾配で複雑に入り組む園路が一部ある。
公園内の植生は、シイカシ群落とコナラクヌギ群落が入り混じる植生であり、一部に竹の侵入が見られる。

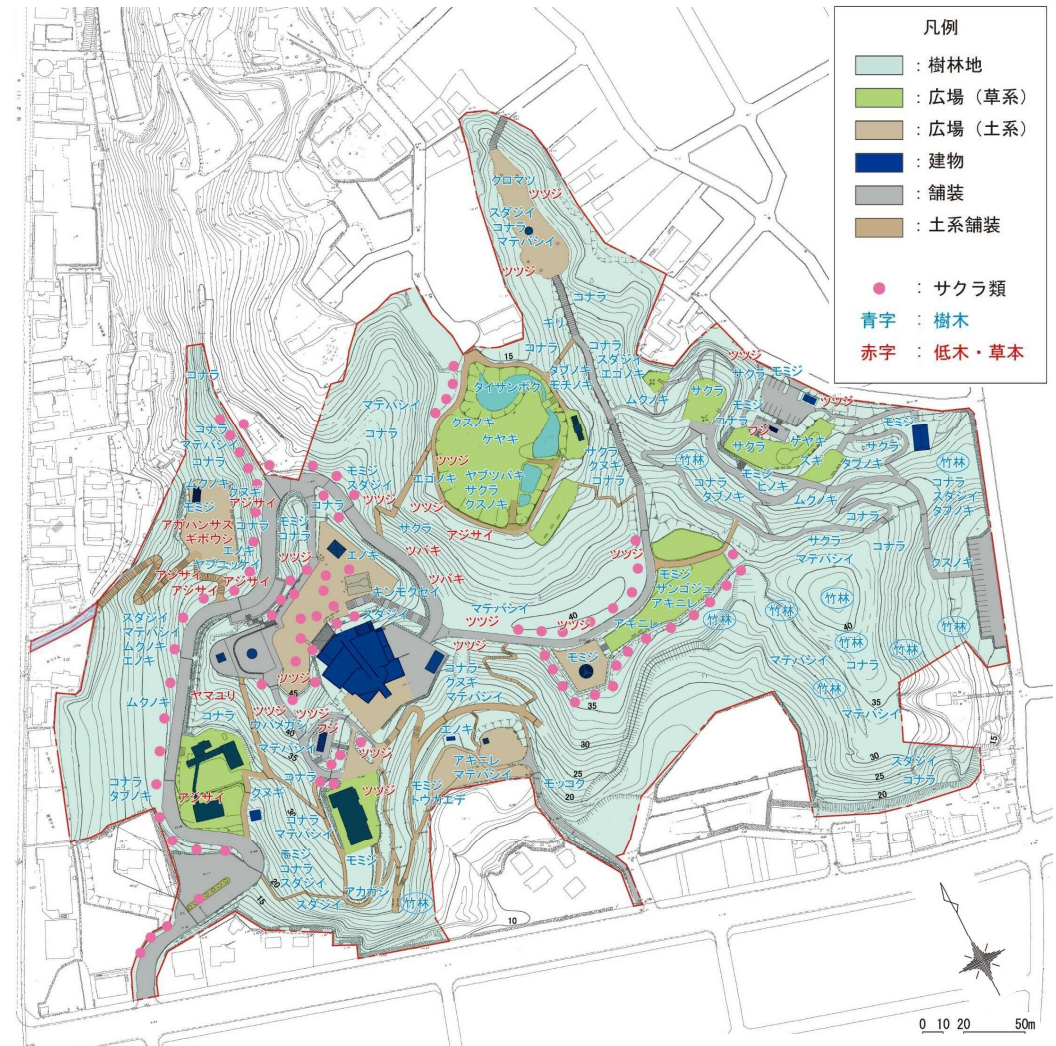
現地調査および課題の整理(園路状況)

西側のメイン進入路は、入口から郷土博物館裏側の管理駐車場までアスファルトとコンクリート舗装で整備されている。一般車は、西側駐車場②付近まで利用可能となっている。
郷土博物館裏側の管理駐車場から、ピクニック広場まではコンクリート舗装で整理され、最北端は、急傾斜の階段となっている。
サクラの広場から旧安西家住宅までと東側駐車場から樹林内は、コンクリート舗装の勾配20～25%の急傾斜の園路が複雑に入り組んでいる。



現地調査および課題の整理(植生・植栽状況)

公園内の植生は、シイカシ群落とコナラクヌギ群落が入り混じる植生となっている。常緑樹は、マテバシイ、スダジイ、ムクノキ、タブノキ、落葉樹はコナラ、クヌギが多い。植栽樹として、サクラ、モミジ類、ケヤキ、アキニレ、低木類は、ツツジ類、アジサイが植栽されている。草本類では、ヤマユリ、キツネノカミソリが見られる。南東側の樹林で竹の侵入が見られる。



現状の建築面積は1,553㎡。(きみさらずタワーは含んでいない)
 建ぺい率2%を上限とする場合の建築面積余地は415㎡、PARK-PFI制度を用いた再整備等の場合(12%の場合)の同余地は、10,251㎡。

現状建築面積と利活用余地等の確認

施設名		建築面積	備考
郷土博物館金のすず	博物館本館	718.99㎡	
	車庫	42.00㎡	
	キュービクル上屋	32.50㎡	
	倉庫	13.12㎡	
	資料館収蔵庫	98.12㎡	
金鈴塚遺物保存館	管理人室	16.11㎡	
	浴室	9.91㎡	遺物保存館の事務室(管理人室)に増築
	新保存館	95.61㎡	
	渡り廊下	40.32㎡	
	保存館	72.00㎡	
	事務室	23.04㎡	
	便所	9.20㎡	現地実測値
指定文化財旧安西家住宅	文化施設	218.53㎡	
公園内便所	東側駐車場①	19.20㎡	
	サクラの広場	19.25㎡	
太田集会所	集会所	94.39㎡	地元自治会所有
橘神社	観光施設	15.57㎡	現地実測値
消火ポンプ室	消防施設	14.70㎡	現地実測値
合計建築面積		1,552.56㎡	※きみさらずタワーは含んでおらず
建ぺい率		1.58%	

太田山公園面積	98,363㎡	
建築面積 余地 (上限2%の場合)	415㎡	建築可能面積【98,363㎡×2%=1,967㎡】 -現状1,552㎡
建築面積 余地 (上限12%の場合)	10,251㎡	建築可能面積【98,363㎡×12%=11,804㎡】-現状1,552㎡

[illegible]

2023. 03
太田山公園平面図